

使用説明書の目次はインタラクティブになって います(反対側ページ参照)。

読みたい項目のタイトルもしくはサブタイトル をクリックしてください。

目次に戻りたい場合は縦に配された白いイン デックス «日本語» をクリックしてください。

1. イントロダクション 115ページ

オーデマ ピゲ マニュファクチュール この時計について

2. 時計の仕様について

120ページ

基本ムーブメント

ムーブメントの技術仕様

特徴

時計の表示と機能

3. 基本的な機能

124ページ

時刻合わせ

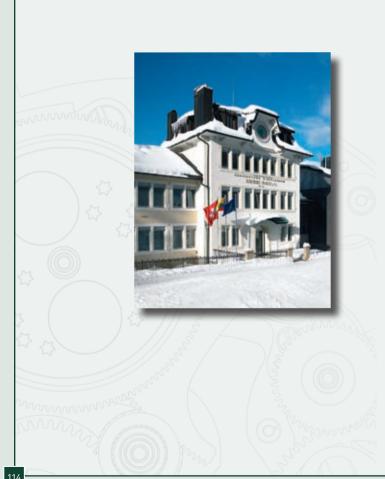
時刻合わせ時のテンプの停止

ムーブメントの巻き上げ

日付の調整

4. 備考

127ページ





## マニュファクチュール

#### 時計製造技術の発祥の地、ジュウ渓谷

ュネーブの約 50km 北、スイス・ジュラ山脈の中に、今日までその自然の魅力を保っている地域、ジュウ渓谷があります。この山岳地帯は気候が厳しく、土壌も痩せていたため、この地に根を下ろした人々は18世紀の中頃に、農業以外の収入の道を探すことを考えました。コンビェと呼ばれたこの土地の人々は、手先の器用さと新しいものを創造する力、また不屈の精神を活かして、時計製造業へと発展していくことになりました。

こうして作られたムーブメントは質が高く、ジュネーブの企業に大変な好評をもって迎えられ、完全な時計に仕上げられたのでした。

1740年以降、ジュウ渓谷のみで時計製造業は自立した産業として発展することができるようになりました。このとき以来、この地域は、ある年代記の1881年の項に記されているように、「急速に発展を遂げた桃源郷」へと変貌したのです。

#### 偉大なる冒険に挑んだ2つの名前

875年、複雑時計の製作に情熱を傾ける 2 人 の若き天才時計職人、ジュールニルイ・オーデマ とエドワール=オーギュスト・ピゲが、高級時計産業 が盛んな地、ジュウ渓谷で2つの才能を集結させ、複

雑機構を搭載した時計を開発・製作しようと 決意しました。2人の決意、想像力、そして規 律の正しさは、ただちに成功を収めました。 1885 年ごろ2人はジュネーヴに支店を構 え、1889 年のパリ万国博覧会の際には様々 な超複雑懐中時計を発表して、新たな取り引 き関係を広げます。オーデマ ピゲのマニュ ファクチュールは年々と発展を続け、例えば 1892 年には初めてのミニッツリピーター機 能付きの腕時計、1915年にはそれまで実現 されたことのない5分単位ミニッツリピータ

一機能を備えた最小ムーブメントを 製作するなどして、高級時計産業の歴 史を彩ってきました。

1918年からは、創設者の息子たちが 事業を受け継いでいます。男性用、女 性用の腕時計の製作に卓越した技術 を発揮し、極薄の洗練された新しいム ーブメントを作り出しています。1929

年のウォール・ストリート株価大暴落によって厳しい 経営を強いられるものの、粘り強さと信念を持ち続 けることで、まずスケルトンと呼ばれる時計の製作を 再び軌道に乗せ、その後クロノグラフ付き時計の製造 に乗り出しました。しかし、この新しい勢いも、第二次

世界大戦によって突然中断を余儀なくされてしまい ます。戦後は再編成をし、マニュファクチュールは、「 伝統と革新 |を追及しつつ、ハイエンドウオッチの製 作に注力。そして特に、クリエイティブの斬新さという 方針により、戦略は実を結んだのです。

国際的な成功を収めたオーデマ ピゲ は、

1972 年にステンレススティールを用 いた世界初のラグジュアリースポーツ ウオッチとして発表され、発売と同時 に大きな成功を収めたロイヤル オーク の製作をはじめ、1986 年に発表され た世界初の自動巻きの極薄トゥールビ ヨン腕時計などの製作を続けてきまし た。以来、マニュファクチュールの創造 のひらめきは衰えることなく、比類ないム ーブメントを備えた独自の美しさを持つ 時計を世に送り続けています。こうして 80年代末には複雑時計のテイストをコン テンポラリーなものに一新し、1999年に は見事なコレクション「トラディションオ ブエクセレンス」を発表します。オーデマ ピゲはこのシリーズの一環として、オーバ ルケースデザインのミレネリーのトラディ

した。この時計には、パワーリザーブインジケーター 機能、デットビートセコンド機能、垂直に配された永 久カレンダーが備わっており、さらには潤滑油を必要 とせずに革命的な高い効率で機能する新脱進機シス テムを搭載することにより、伝統に根付いた大胆なス ピリットを実現しながら、未来をも約束しています。

ション オブ エクセレンスNo.5を発表しま



# この時計について

自動巻ウォッチでは、時計を機能させるエネルギー が手首の動きによりもたらされます。

このエネルギーは、**21**金製の回転錘に吸収され、 歯車によってゼンマイに伝えられます。

スプリングが徐々にバレル軸に巻き付くことで、エネルギーが蓄積されます。蓄えられたエネルギーはコンスタントにムーブメントに供給されます。

時計を填めた方の運動量や生活習慣の違いにより、 数時間から数日の範囲でパワー・リザーブが上限に達 します。

## ブリッジ側



### ダイヤル側



## ムーブメントの技術仕様

ベースムーブメントの厚さ:4.00 mm

直径: 21.30 mm

振動数:28,800振動/時 (4 Hz)

石数:28

パワーリザーブ(ミニマム):約40時間

一方向回転の自動巻(時計回りーダイヤル側)

注油不要のセラミック製ボールベアリング上にセットされた**21K**部分使用のローター

変動慣性マスロット使用テンプ

平面スパイラル

可動ヒゲ持ち受け

### 特徴

時刻調整中は秒針が停止(秒針の停止)

### 時計の表示と機能

(表紙の裏側にある図解参照)

- 1 時針
- 2 分針
- 3 秒針
- 4 日付窓

このデイト表示時計は3または4段階式のリューズを備えています。

- A ねじ込まれた位置のリューズ (該当モデルのみ)
- B 位置 手巻き
- □ 位置 クイック日付修正
- D 位置 時刻合わせ

<注意> 該当モデルでは、まずリューズを緩めてから作業を行い、作業後は防水性を保証するために再び(A)位置までしっかりと締めてください。



#### 時刻合わせ

ねじ込み式リューズのモデルの場合、必ずリューズを緩めてからご使用ください。緩めるとリューズは自動的にB位置にセットされます。

リューズをポジション D に引き出します。時刻合わせは針を時計回りに回し、合わせる時刻に向かってそっと針を進め、正確に合わせて下さい。これによりリューズを巻上げポジションBに戻す時に針調整のあそびが補正されます。

注意:日付の変更時に午前12時と午後12時を 間違えないようにしてください。

### 時刻合わせ時のテンプの停止

リューズを引き出すと秒針と同時にテンプも自動的に停止します。これにより正確な時刻合わせが可能です。

### ムーブメントの巻き上げ

ねじ込み式リューズのモデルの場合、必ずリューズを緩めてからご使用ください。

時計が停止した場合は、リューズを B 位置で時計回りに30回転させることにより、完全に巻き上げることができます。その後は手首の動きにより、自動巻機構が時計の正常な作動を持続させます。

注意:時計を腕に付けていない時、自動巻システムは機能せず、時計は2日ほどで止まります。

### 日付の調整

誤作動を防ぐため、日付メカニズムが作動していない午前1時から午後6時までの間に操作を行うことをお勧めいたします。

ねじ込み式リューズのモデルの場合、必ずリューズを緩めてからご使用ください。

時計が正確な日付を表示していない場合は、 リューズを【位置(日付のクイック修正)に引き出し、合わせたい日付が現れるまで時計回 りに回してください。

その後、リューズを B 位置 (ねじ込み式リューズの場合は <math>A 位置) まで戻してください。



時計の保証、および推奨するお手入れ方法に関する全ての詳細な情報は、証明書および付属の保証書に記されています。

